

図面の見方講座（第3回 製缶・溶接編）カリキュラム

講義内容 : 図面の情報を正しく読み取り、業務に反映する。

第3回 : 12月2日(水)～12月4日(金) 13:00～17:00 (計 12時間)

日 程	研 修 内 容
第1日目	<p>1. 自己紹介 溶接、製缶品の物作り 顧客 → 営業 → 設計(図面) → 製造 → 検査 → 顧客 最近の製缶溶接、及び材料の問題(新幹線/神戸製鋼)</p> <p>2. 図面の役割 (1)製缶・溶接図面とは。 (2)図面 一角法、三角法。テキストによる問題と解答解説 (3)図面の基本事項 : 図面番号、来歴、製図者、チェック者、承認者 (4)図面の理解は仕事の基本 (5)講師の海外での失敗経験談 材料一般。構造物の基本は材料 【使用 教材 資料】配布資料 基礎編、資料② 教科書 OHP</p>
第2日目	<p>1. 図面の基本 (1)図面の基本 : 図面番号、材料予算、材料性質、品番、方番 (2)材料の採取と方番の図法(スケッチの例) (3)溶接記号 : 溶接記号の実践練習 (4)溶接方法 : アーク溶接、自動溶接 (5)ロー付けと溶接の違い : 図面上の記号</p> <p>2. 世界の動き (1)小さなことが製品価値を決める。 (2)発電の方法 : 原子力 風力 太陽光 (3)溶接構造物の変形</p> <p>3. 製缶品・溶接構造物の主な材料 2018年新幹線の事故、神戸製鋼所の問題。J I S鉄鋼について 【使用 教材 資料】配布資料 基礎編、資料①、資料② 教科書 OHP</p>
第3日目	<p>1. 図面の見方実践 (1)発電機固定子枠の図面詳細解説 (2)外部カバー類の図面詳細解説 (3)安全作業方法 : 酸素は大切 21%。6%の環境では6分が限度 (4)溶接記号の解説。記号の実形状への展開</p> <p>2. 溶接部の非破壊検査 (1)染色探傷検査 (2)超音波検査 (3)磁気探傷検査 (4)放射線検査</p> <p>3. 図面の見方まとめ 【使用 教材 資料】配布資料 基礎編、資料①、資料② 教科書 OHP</p>

注意) 日程、研修指導内容等について、一部変更する場合があります。